

総合芸術学科

■総合芸術学科■

【専攻の概要】

総合芸術学科は1999(平成11)年に発足した学科で、総合芸術学の一専攻のみで構成されています。

現代社会にあって、芸術や文化をめぐる状況は大きく変化し多様化しています。それに応じて芸術を対象にする研究領域も広がりを見せ、実践的に芸術にかかわる人材が求められています。本学に総合芸術学科が開設されたのは、従来の芸術研究だけでなく、こうした社会的要請にこたえるためでもあります。

とくに「総合」芸術学という名称が冠されたのは、さまざまな領域を横断する「総合」的なアプローチがめざされているからです。したがって本学科は、旧来のいわゆる芸術学の枠組みにとらわれない研究内容をふくんでおり、「芸術」という境界をこえた多様な文化領域も視野にのけるものです。また、本学の実技教育に参加することを通じて、制作活動を現場で経験し、理解を深めることができるようなカリキュラムが組みこまれています。

【履修の流れ】

- 【1年次】 総合芸術学科の入門講座(基礎演習A)を必修科目として履修します。それ以外に前期は学部共通の総合基礎実技に参加し、後期は美術科基礎・デザイン科基礎・工芸科基礎のいずれかを選択し履修します。またこの時期に外国語の基礎や美学美術史関係の科目、一般的な基礎講義科目など、幅広い授業を自由に選択することができます。
- 【2年次】 前期までは実技科目を履修できます。後期から、総合芸術学科にかかわる科目が始まります。実技教員への取材を通じて学ぶ演習、総合芸術学科の専門的な語学演習、コンピュータを用いた実技授業等が行われます。また、3年次以上で必修のゼミ・合同演習にも参加できます。
- 【3年次】 学生は自分の専門領域をさだめ、それぞれ内容に即した指導をうけることとなります。第1ゼミ「芸術の歴史と理論」、第2ゼミ「文化と感性の理論」、第3ゼミ「芸術と社会」の3コースがあり、そのいずれかに所属して本格的な研究に取り組みねばなりません。
- 合同演習では、各人が研究成果を発表し、全体で議論しながらそれぞれのテーマを深めていきます。また、合同演習では、展覧会の企画運営や、芸術についての情報を収集・紹介するウェブサイトの運営もおこないます。
- 【4年次】 3回生にひきつづき、ゼミでの研究が中心となります。研究発表を重ねながら自分のテーマをほりさげ、最終的にその成果を卒業論文にまとめます。なお卒業論文に関連した作品を提出することも可能です。

教科 No.	1L01	授業科目	総合芸術学科基礎実技	単位数	週2コマ 2単位																
担当教員	○人長果月			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 展覧会の見学, 取材, 批評, 企画立案などを通じて芸術の現場と関わり, 芸術と社会をつなぐ者としての役割を学ぶ。</p> <p>【授業概要】 ウェブサイト構築・運営し, 実際に芸術を社会につなぐ体験をする。また, その制作過程に必要な写真撮影・加工などの技術を補足的に習得していく。作家にインタビューを行い, ビデオ撮影・編集を体験する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>9. サイトを構築</td> </tr> <tr> <td>2. 展覧会の考察・ウェブ作成基礎</td> <td>10. サイトを構築</td> </tr> <tr> <td>3. 展覧会情報サイトの調査・ウェブ作成基礎</td> <td>11. サイトを構築</td> </tr> <tr> <td>4. 展覧会情報サイトの調査・ウェブ作成基礎</td> <td>12. サイトを構築</td> </tr> <tr> <td>5. ウェブサイトの設計</td> <td>13. ビデオ編集</td> </tr> <tr> <td>6. ウェブサイトの設計</td> <td>14. ビデオ編集</td> </tr> <tr> <td>7. デジタル写真の撮影, 加工説明</td> <td>15. ビデオ編集</td> </tr> <tr> <td>8. サイトを構築</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 出席と提出物, 質疑応答, 討論などの内容で評価する。</p>						1. ガイダンス	9. サイトを構築	2. 展覧会の考察・ウェブ作成基礎	10. サイトを構築	3. 展覧会情報サイトの調査・ウェブ作成基礎	11. サイトを構築	4. 展覧会情報サイトの調査・ウェブ作成基礎	12. サイトを構築	5. ウェブサイトの設計	13. ビデオ編集	6. ウェブサイトの設計	14. ビデオ編集	7. デジタル写真の撮影, 加工説明	15. ビデオ編集	8. サイトを構築	
1. ガイダンス	9. サイトを構築																				
2. 展覧会の考察・ウェブ作成基礎	10. サイトを構築																				
3. 展覧会情報サイトの調査・ウェブ作成基礎	11. サイトを構築																				
4. 展覧会情報サイトの調査・ウェブ作成基礎	12. サイトを構築																				
5. ウェブサイトの設計	13. ビデオ編集																				
6. ウェブサイトの設計	14. ビデオ編集																				
7. デジタル写真の撮影, 加工説明	15. ビデオ編集																				
8. サイトを構築																					

教科 No.	1L02	授業科目	専門書講読 (英語)	単位数	週1コマ 2単位
担当教員	○春木有亮			開講学期	後期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次以上	
<p>※詳細については, 掲示にて周知します。</p>					

教科 No.	1L03	授業科目	専門書講読（フランス語）	単位数	週1コマ 2単位																								
担当教員	○武田 宙也			開講学期	後期																								
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																									
<p>【授業目標】 芸術学を研究する上で必要となる、フランス語の正確な読解能力を身につける。</p> <p>【授業概要】 さまざまなスタイルのフランス語に慣れるために、短めのテキストを複数用いて講読を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr><td>1. ガイダンス</td><td>9.</td><td>”</td></tr> <tr><td>2. 学生による講読</td><td>10.</td><td>”</td></tr> <tr><td>3. ”</td><td>11.</td><td>”</td></tr> <tr><td>4. ”</td><td>12.</td><td>”</td></tr> <tr><td>5. ”</td><td>13.</td><td>”</td></tr> <tr><td>6. ”</td><td>14.</td><td>”</td></tr> <tr><td>7. ”</td><td>15.</td><td>”</td></tr> <tr><td>8. ”</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>【評価方法】 平常点（出席・発表内容・授業への参加姿勢）によって評価する。</p> <p>【履修上の注意】 初級文法の知識を確かなものにしておくこと。</p>						1. ガイダンス	9.	”	2. 学生による講読	10.	”	3. ”	11.	”	4. ”	12.	”	5. ”	13.	”	6. ”	14.	”	7. ”	15.	”	8. ”		
1. ガイダンス	9.	”																											
2. 学生による講読	10.	”																											
3. ”	11.	”																											
4. ”	12.	”																											
5. ”	13.	”																											
6. ”	14.	”																											
7. ”	15.	”																											
8. ”																													

教科 No.	1L04	授業科目	専門書講読（ドイツ語）	単位数	週1コマ 2単位																								
担当教員	加須屋明子			開講学期	後期																								
履修条件			履修学年・専攻等	1年次以上																									
<p>【授業目標】 芸術学を研究する上で必要なドイツ語の読解能力を養う。主にドイツ語のテキストをそれぞれが担当して日本語訳を作成する。</p> <p>【授業概要】 美術や現代文化にかんするテキストを精読する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr><td>1. ガイダンス</td><td>9.</td><td>”</td></tr> <tr><td>2. 学生による講読</td><td>10.</td><td>”</td></tr> <tr><td>3. ”</td><td>11.</td><td>”</td></tr> <tr><td>4. ”</td><td>12.</td><td>”</td></tr> <tr><td>5. ”</td><td>13.</td><td>”</td></tr> <tr><td>6. ”</td><td>14.</td><td>”</td></tr> <tr><td>7. ”</td><td>15.</td><td>”</td></tr> <tr><td>8. ”</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>【評価方法】 平常点を重視する</p> <p>【履修上の注意】 ドイツ語の基礎知識をすでにもっていることが前提となる。</p> <p>【教科書】 授業中に指示する。</p>						1. ガイダンス	9.	”	2. 学生による講読	10.	”	3. ”	11.	”	4. ”	12.	”	5. ”	13.	”	6. ”	14.	”	7. ”	15.	”	8. ”		
1. ガイダンス	9.	”																											
2. 学生による講読	10.	”																											
3. ”	11.	”																											
4. ”	12.	”																											
5. ”	13.	”																											
6. ”	14.	”																											
7. ”	15.	”																											
8. ”																													

教科 No.	1L05	授業科目	専門書講読（古文書・古筆）	単位数	週1コマ 2単位
担当教員	○松尾敦子			開講学期	後期
履修条件			履修学年・専攻等	2年次	
【授業目標】 日本美術史を研究する上で仮名文字の解読は重要である。授業では、平安時代から江戸時代に記された様々な仮名文字に触れ、基礎的な知識を身につけることを目標とする。					
【授業概要】 発表形式（仮名文字を現代仮名と漢字に改めて解読する）によって授業を行う。前半は、仮名文字に慣れるため、読みやすい古典の写本を取りあげる。後半は、古筆（和歌巻）を取りあげ、料紙装飾と和歌を鑑賞し、制作された時代背景や当時の美意識についても理解を深める。					
【授業内容】					
1. ガイダンス（授業の方針の説明。予習箇所の指示）		9. 深窓秘抄・本阿弥光悦の書（コピーを配布）			
2. 伊勢物語・花散里（教科書を利用）		10. "			
3. "		11. "			
4. "		12. "			
5. "		13. "			
6. "		14. "			
7. "		15. 試験			
8. "					
【評価方法】 受講態度（出席・発表内容・授業への参加姿勢）・試験によって評価する。受講態度が不真面目と判断したときは評価をしない。					
【履修上の注意】 初日に教科書を持参して参加すること。履修者には、毎回、予習と発表を義務づける。					
【教科書】 松尾聡編『変体平仮名演習』（笠間書院）					
【参考書等】 児玉幸多編『くずし字用例辞典』（東京堂出版）					
※備考 履修状況に応じて、近世～近代の書簡類を扱うことも予定している。					

教科 No.	1L06	授業科目	基礎演習 A-1	単位数	週1コマ 1単位
担当教員	横田・潮江・伊東・加須屋・礪波			開講学期	前期
履修条件	総合芸術学科 1年次必修		履修学年・専攻等	1年次	
【授業目標】 研究に求められる基礎的な知識・技能を学ぶとともに、総合芸術学とはどのような学科であり、どのような研究が可能であるかを自ら考察する。					
【授業概要】 芸術学研究に求められる問題解決や情報活用など基礎的な知識技能を演習形式で実践的に学ぶ授業と、総合芸術学担当の各教員が、一人ずつ自分の専門領域についてわかりやすく解説する授業を組み合わせる。					
【授業内容】					
1. ガイダンス・授業の概要及び日程等の説明		9. 情報収集とプレゼンテーション2			
2. 芸術学研究に求められる知識・技能（概要）		10. 専門領域解説【西洋美術史】			
3. 問題解決と情報活用演習1		11. 情報収集とプレゼンテーション3			
4. 問題解決と情報活用演習2		12. 専門領域解説【陶磁器工芸史】			
5. 問題解決と情報活用演習3		13. 情報の整理とプレゼンテーション1			
6. 専門領域解説【日本美術史（彫刻）】		14. 情報の整理とプレゼンテーション2			
7. 情報収集とプレゼンテーション1		15. まとめ			
8. 専門領域解説【美学・芸術学】					
【評価方法】 各自のプレゼンテーションの作成は単位取得に必須。さらに授業内容に応じてレポート等の提出を課す。なお出席率も重視する。					
【履修上の注意】 後期開講の基礎演習 A-2 とあわせて受講すること。本授業は午前開講。					
【参考書等】 必要に応じて指示する。					
※備考 講義の順番は入れ替る場合がある。					
講義の順番及び時間配分は変更する場合がある。講義初日のオリエンテーションで詳細について説明する。					

教科 No.	1L07	授業科目	基礎演習 A-2	単位数	週1コマ 1単位																
担当教員	潮江・渡辺眞・定金・伊東・横田・加須屋・三木・吉田・田島・礪波			開講学期	後期																
履修条件	総合芸術学科 1 年次必修		履修学年・専攻等	1 年次																	
<p>【授業目標】 芸術学の各領域について、最も基本的な知識を学び、総合芸術学とは何であり、どのような研究が可能であるかを考える。</p> <p>【授業概要】 総合芸術学担当の教員が、一人ずつ自分の専門領域についての解説と演習を行う。また、課題演習では全員で1つの課題に取り組んで成果を発表する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 東洋美術史</td> <td>9. 日本絵画史</td> </tr> <tr> <td>2. "</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 美的人間形成論</td> <td>11. 課題演習</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. デザイン論</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. "</td> </tr> <tr> <td>7. 染織工芸史</td> <td>15. まとめと総評</td> </tr> <tr> <td>8. "</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 授業内容に応じてレポート等の提出を課す。平常点、課題への取り組みも重視する。出席率が6割に達しないものは不可とする。</p> <p>【履修上の注意】 1 年次必修。</p> <p>【参考書等】 必要に応じて指示する。</p> <p>※備考 基礎演習 A-1 とあわせて受講すること。午前開講。</p> <p>講義の順番は入れ替る場合がある。</p>						1. 東洋美術史	9. 日本絵画史	2. "	10. "	3. 美的人間形成論	11. 課題演習	4. "	12. "	5. デザイン論	13. "	6. "	14. "	7. 染織工芸史	15. まとめと総評	8. "	
1. 東洋美術史	9. 日本絵画史																				
2. "	10. "																				
3. 美的人間形成論	11. 課題演習																				
4. "	12. "																				
5. デザイン論	13. "																				
6. "	14. "																				
7. 染織工芸史	15. まとめと総評																				
8. "																					

教科 No.	1L08	授業科目	基礎演習 B	単位数	週1日 2単位																
担当教員	田島達也・礪波恵昭			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2 年次																	
<p>【授業目標】 美術、工芸、デザインの各分野で活躍する実技教員の創作活動に触れ、「作ること」の意味を考える。また、それを広く社会に伝える方法を学ぶ。</p> <p>【授業概要】 実技教員への取材を行い、制作現場の生の声を聞く。その内容を編集し、印刷、映像、ネットなどのメディアを用いて対外的に発信する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業の概要説明</td> <td>9. "</td> </tr> <tr> <td>2. 作家紹介文作成演習</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. "</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. 取材への予備調査</td> <td>12. 編集作業</td> </tr> <tr> <td>5. 取材のための機材の扱い方</td> <td>13. 編集作業</td> </tr> <tr> <td>6. 取材交渉</td> <td>14. 編集作業</td> </tr> <tr> <td>7. 取材（インタビュー・撮影）</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. "</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 取材内容をまとめたものを共同で冊子等の形にしてもらう。その内容を評価する。また授業内容に応じてレポート等の提出を課す。出席率を特に重視する。</p> <p>【履修上の注意】 2 年次必修</p>						1. 授業の概要説明	9. "	2. 作家紹介文作成演習	10. "	3. "	11. "	4. 取材への予備調査	12. 編集作業	5. 取材のための機材の扱い方	13. 編集作業	6. 取材交渉	14. 編集作業	7. 取材（インタビュー・撮影）	15. まとめ	8. "	
1. 授業の概要説明	9. "																				
2. 作家紹介文作成演習	10. "																				
3. "	11. "																				
4. 取材への予備調査	12. 編集作業																				
5. 取材のための機材の扱い方	13. 編集作業																				
6. 取材交渉	14. 編集作業																				
7. 取材（インタビュー・撮影）	15. まとめ																				
8. "																					

教科 No.	1L09	授業科目	ゼミ演習 1A(芸術の歴史と理論)	単位数	4単位																								
担当教員	潮江宏三・定金計次・田島達也・礪波恵昭			開講学期	前期																								
履修条件			履修学年・専攻等	3年次以上																									
【授業目標】																													
<p>芸術の歴史と理論に関する研究を実践的に行う。美術史の方法論を主とする。 自分自身の研究課題を見つけ、担当教員を決め、調べ方や発表のしかた、論文の書き方を学ぶ。</p>																													
【授業概要】																													
<p>研究課題に応じた指導を行う。 発表とディスカッション・個別指導・見学などを予定している。</p>																													
【授業内容】																													
<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>9.</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>2. 研究課題と方法論の検討</td> <td>10.</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>3. 見学会</td> <td>11.</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>4. 進捗状況の報告</td> <td>12.</td> <td>発表とディスカッション</td> </tr> <tr> <td>5. 〃</td> <td>13.</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>6. 〃</td> <td>14.</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>7. 〃</td> <td>15.</td> <td>まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 〃</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						1. ガイダンス	9.	〃	2. 研究課題と方法論の検討	10.	〃	3. 見学会	11.	〃	4. 進捗状況の報告	12.	発表とディスカッション	5. 〃	13.	〃	6. 〃	14.	〃	7. 〃	15.	まとめ	8. 〃		
1. ガイダンス	9.	〃																											
2. 研究課題と方法論の検討	10.	〃																											
3. 見学会	11.	〃																											
4. 進捗状況の報告	12.	発表とディスカッション																											
5. 〃	13.	〃																											
6. 〃	14.	〃																											
7. 〃	15.	まとめ																											
8. 〃																													
【評価方法】																													
出席率・研究を行う姿勢・研究の進展状況を主としながら、総合的に判断して評価する。																													
【履修上の注意】																													
関心のある学生は2回生の段階で参加することができる。希望者はあらかじめ申し出ること。																													

教科 No.	1L10	授業科目	ゼミ演習 1B(芸術の歴史と理論)	単位数	4単位																								
担当教員	潮江宏三・定金計次・田島達也・礪波恵昭			開講学期	後期																								
履修条件			履修学年・専攻等	3年次以上																									
【授業目標】																													
<p>芸術の歴史と理論に関する研究を実践的に行う。美術史の方法論を主とする。 3回生は自らの研究課題を進展させ、4回生は卒論に向けて論文としての形式・内容を充実させる。</p>																													
【授業概要】																													
<p>研究課題に応じた指導を行う。 発表とディスカッション・個別指導・見学などを予定している。</p>																													
【授業内容】																													
<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>9.</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>2. 研究課題と方法論の検討</td> <td>10.</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>3. 見学会</td> <td>11.</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>4. 進捗状況の報告</td> <td>12.</td> <td>発表とディスカッション</td> </tr> <tr> <td>5. 〃</td> <td>13.</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>6. 〃</td> <td>14.</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>7. 〃</td> <td>15.</td> <td>まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 〃</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						1. ガイダンス	9.	〃	2. 研究課題と方法論の検討	10.	〃	3. 見学会	11.	〃	4. 進捗状況の報告	12.	発表とディスカッション	5. 〃	13.	〃	6. 〃	14.	〃	7. 〃	15.	まとめ	8. 〃		
1. ガイダンス	9.	〃																											
2. 研究課題と方法論の検討	10.	〃																											
3. 見学会	11.	〃																											
4. 進捗状況の報告	12.	発表とディスカッション																											
5. 〃	13.	〃																											
6. 〃	14.	〃																											
7. 〃	15.	まとめ																											
8. 〃																													
【評価方法】																													
出席率・研究を行う姿勢・研究の進展状況を主としながら、総合的に判断して評価する。																													
【履修上の注意】																													
関心のある学生は2回生の段階で参加することができる。希望者はあらかじめ申し出ること。																													

教科 No.	1L11	授業科目	ゼミ演習 2A(文化と感性の理論)	単位数	4単位																								
担当教員	三木博・加須屋明子			開講学期	前期																								
履修条件			履修学年・専攻等	3年次以上																									
<p>【授業目標】 現代社会のなかで多様化した文化現象を、美学・感性論・日本文化論・人間学等の立場から学際的に研究することをめざす。各自が研究課題を見つけ、少しずつ論文・作品のかたちをまとめあげていくことを目標とする。</p> <p>【授業概要】 理論的研究が中心となるが、具体的領域としては、写真や映画などの映像メディアをはじめ、従来の美術史や芸術学をはみ出すような分野もふくまれている。 前期はとくにテーマの設定と、研究を進めるための準備作業が中心になる。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr><td>1. テーマ設定のための話し合い</td><td>9.</td><td>”</td></tr> <tr><td>2. ”</td><td>10.</td><td>研究発表</td></tr> <tr><td>3. 研究資料の収集など、準備作業をすすめる</td><td>11.</td><td>”</td></tr> <tr><td>4. ”</td><td>12.</td><td>”</td></tr> <tr><td>5. ”</td><td>13.</td><td>”</td></tr> <tr><td>6. 前期の研究発表のためにテーマを具体化し深化させていく</td><td>14.</td><td>”</td></tr> <tr><td>7. ”</td><td>15.</td><td>”</td></tr> <tr><td>8. ”</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>【評価方法】 平常点と研究発表の成果によって評価する。</p> <p>【履修上の注意】 関心のある学生は2回生の段階で参加することができる。希望者はあらかじめ申し出ること。</p>						1. テーマ設定のための話し合い	9.	”	2. ”	10.	研究発表	3. 研究資料の収集など、準備作業をすすめる	11.	”	4. ”	12.	”	5. ”	13.	”	6. 前期の研究発表のためにテーマを具体化し深化させていく	14.	”	7. ”	15.	”	8. ”		
1. テーマ設定のための話し合い	9.	”																											
2. ”	10.	研究発表																											
3. 研究資料の収集など、準備作業をすすめる	11.	”																											
4. ”	12.	”																											
5. ”	13.	”																											
6. 前期の研究発表のためにテーマを具体化し深化させていく	14.	”																											
7. ”	15.	”																											
8. ”																													

教科 No.	1L12	授業科目	ゼミ演習 2B(文化と感性の理論)	単位数	4単位																								
担当教員	三木博・加須屋明子			開講学期	後期																								
履修条件			履修学年・専攻等	3年次以上																									
<p>【授業目標】 現代社会のなかで多様化した文化現象を、美学・感性論、日本文化論、人間学等の立場から学際的に研究することをめざす。各自がすでに設定した研究テーマを深め、最終的に論文・作品にまとめあげていく。</p> <p>【授業概要】 理論的研究が中心となるが、具体的領域としては、写真や映画などの映像メディアをはじめ、従来の美術史や芸術学をはみ出すような分野もふくまれている。 後期はこれまでの研究をふまえ、具体的成果をもたらすことが目指される。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr><td>1. 後期の研究計画のための話し合い</td><td>9.</td><td>”</td></tr> <tr><td>2. ”</td><td>10.</td><td>”</td></tr> <tr><td>3. 研究資料の収集など、準備作業をすすめる</td><td>11.</td><td>研究発表</td></tr> <tr><td>4. ”</td><td>12.</td><td>”</td></tr> <tr><td>5. ”</td><td>13.</td><td>”</td></tr> <tr><td>6. ”</td><td>14.</td><td>”</td></tr> <tr><td>7. 後期の研究発表のためにテーマを具体化し深化させていく</td><td>15.</td><td>”</td></tr> <tr><td>8. ”</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>【評価方法】 平常点と研究発表の成果によって評価する。</p> <p>【履修上の注意】 関心のある学生は2回生の段階で参加することができる。希望者はあらかじめ申し出ること。</p>						1. 後期の研究計画のための話し合い	9.	”	2. ”	10.	”	3. 研究資料の収集など、準備作業をすすめる	11.	研究発表	4. ”	12.	”	5. ”	13.	”	6. ”	14.	”	7. 後期の研究発表のためにテーマを具体化し深化させていく	15.	”	8. ”		
1. 後期の研究計画のための話し合い	9.	”																											
2. ”	10.	”																											
3. 研究資料の収集など、準備作業をすすめる	11.	研究発表																											
4. ”	12.	”																											
5. ”	13.	”																											
6. ”	14.	”																											
7. 後期の研究発表のためにテーマを具体化し深化させていく	15.	”																											
8. ”																													

教科 No.	1L13	授業科目	ゼミ演習 3A(芸術と社会)	単位数	4単位																								
担当教員	渡辺眞・伊東徹夫・横田学・吉田雅子			開講学期	前期																								
履修条件			履修学年・専攻等	3年次以上																									
<p>【授業目標】 工芸やデザインなどを中心ジャンルとしつつも、生活と美術のむすびつきそのものをテーマとし、歴史的あるいは計画論的に研究することを旨とする。</p> <p>【授業概要】 学生の希望する研究テーマに添いつつ、毎回、学生か教員がテーマを提供し、それについて討論する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr><td>1. ガイダンス</td><td>9.</td><td>”</td></tr> <tr><td>2. 研究発表・ディスカッション</td><td>10.</td><td>”</td></tr> <tr><td>3. ”</td><td>11.</td><td>”</td></tr> <tr><td>4. ”</td><td>12.</td><td>”</td></tr> <tr><td>5. ”</td><td>13.</td><td>”</td></tr> <tr><td>6. ”</td><td>14.</td><td>”</td></tr> <tr><td>7. ”</td><td>15.</td><td>まとめ</td></tr> <tr><td>8. ”</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>【評価方法】</p> <p>【履修上の注意】 関心のある学生は2回生の段階で参加することができる。希望者はあらかじめ申し出ること。</p> <p>【参考書等】 必要に応じて指示する。</p> <p>※備考 授業計画は、初回に参加メンバー全員で相談する。</p>						1. ガイダンス	9.	”	2. 研究発表・ディスカッション	10.	”	3. ”	11.	”	4. ”	12.	”	5. ”	13.	”	6. ”	14.	”	7. ”	15.	まとめ	8. ”		
1. ガイダンス	9.	”																											
2. 研究発表・ディスカッション	10.	”																											
3. ”	11.	”																											
4. ”	12.	”																											
5. ”	13.	”																											
6. ”	14.	”																											
7. ”	15.	まとめ																											
8. ”																													

教科 No.	1L14	授業科目	ゼミ演習 3B(芸術と社会)	単位数	4単位																								
担当教員	渡辺眞・伊東徹夫・横田学・吉田雅子			開講学期	後期																								
履修条件			履修学年・専攻等	3年次以上																									
<p>【授業目標】 工芸やデザインなどを中心ジャンルとしつつも、生活と美術のむすびつきそのものをテーマとし、歴史的あるいは計画論的に研究することを旨とする。</p> <p>【授業概要】 イベント、展覧会、出版、インターネット企画等、生活と美術のむすびつき方を考え、試案してみる。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr><td>1. ガイダンス</td><td>9.</td><td>”</td></tr> <tr><td>2. 研究発表・ディスカッション</td><td>10.</td><td>”</td></tr> <tr><td>3. ”</td><td>11.</td><td>”</td></tr> <tr><td>4. ”</td><td>12.</td><td>”</td></tr> <tr><td>5. ”</td><td>13.</td><td>”</td></tr> <tr><td>6. ”</td><td>14.</td><td>”</td></tr> <tr><td>7. ”</td><td>15.</td><td>まとめ</td></tr> <tr><td>8. ”</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>【評価方法】</p> <p>【履修上の注意】 関心のある学生は2回生の段階で参加することができる。希望者はあらかじめ申し出ること。</p> <p>【参考書等】 必要に応じて指示する。</p> <p>※備考 具体的な計画については、参加学生を含め全メンバーで考える。</p>						1. ガイダンス	9.	”	2. 研究発表・ディスカッション	10.	”	3. ”	11.	”	4. ”	12.	”	5. ”	13.	”	6. ”	14.	”	7. ”	15.	まとめ	8. ”		
1. ガイダンス	9.	”																											
2. 研究発表・ディスカッション	10.	”																											
3. ”	11.	”																											
4. ”	12.	”																											
5. ”	13.	”																											
6. ”	14.	”																											
7. ”	15.	まとめ																											
8. ”																													

教科 No.	1L15	授業科目	合同演習 A	単位数	2単位																								
担当教員	潮江・定金・田島・礪波・加須屋・三木・渡辺眞・伊東・横田・吉田			開講学期	前期																								
履修条件			履修学年・専攻等	3年次以上																									
<p>【授業目標】 この演習の内容は2つあり、学生は両方を平行して行う。 1 各自が研究した内容を、教員と学生の前で発表し、質疑応答をする。 2 情報サイトの運営や展覧会企画などプロジェクト型の演習を行い、芸術とのさまざまな関わりを学ぶ。</p> <p>【授業概要】 1 少なくとも一人一回以上の発表を義務とする。発表時期については、各自の研究の進捗状況を考慮しながら適宜設定し、前もって知らせる。学年に関係なく積極的に発言すること。 2 はじめに今年度のプロジェクトの内容と担当を決めておき、目標に応じて継続的に活動する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr><td>1. ガイダンス</td><td>9.</td><td>”</td></tr> <tr><td>2. プロジェクトの内容と担当の決定。</td><td>10.</td><td>”</td></tr> <tr><td>3. サイト更新等と研究発表（研究発表の日は適宜設定する）</td><td>11.</td><td>”</td></tr> <tr><td>4. ”</td><td>12.</td><td>”</td></tr> <tr><td>5. ”</td><td>13.</td><td>”</td></tr> <tr><td>6. ”</td><td>14.</td><td>来期への展望</td></tr> <tr><td>7. ”</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8. ”</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>【評価方法】 出席率、研究成果、プレゼンテーション、質疑応答における積極性、プロジェクト活動の質と量等を総合的に判断して評価する。</p> <p>【履修上の注意】 2年次の学生も参加することができる。</p>						1. ガイダンス	9.	”	2. プロジェクトの内容と担当の決定。	10.	”	3. サイト更新等と研究発表（研究発表の日は適宜設定する）	11.	”	4. ”	12.	”	5. ”	13.	”	6. ”	14.	来期への展望	7. ”			8. ”		
1. ガイダンス	9.	”																											
2. プロジェクトの内容と担当の決定。	10.	”																											
3. サイト更新等と研究発表（研究発表の日は適宜設定する）	11.	”																											
4. ”	12.	”																											
5. ”	13.	”																											
6. ”	14.	来期への展望																											
7. ”																													
8. ”																													

教科 No.	1L16	授業科目	合同演習 B	単位数	2単位																								
担当教員	潮江・定金・田島・礪波・加須屋・三木・渡辺眞・伊東・横田・吉田			開講学期	後期																								
履修条件			履修学年・専攻等	3年次以上																									
<p>【授業目標】 この演習の内容は2つあり、学生は両方を平行して行う。 1 各自が研究した内容を、教員と学生の前で発表し、質疑応答をする。 2 情報サイトの運営や展覧会企画などプロジェクト型の演習を行い、芸術とのさまざまな関わりを学ぶ。</p> <p>【授業概要】 1 少なくとも一人一回以上の発表を義務とする。発表時期については、各自の研究の進捗状況を考慮しながら適宜設定し、前もって知らせる。学年に関係なく積極的に発言すること。 2 はじめに今年度のプロジェクトの内容と担当を決めておき、目標に応じて継続的に活動する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr><td>1. ガイダンス</td><td>9.</td><td>”</td></tr> <tr><td>2. プロジェクトの内容と担当の決定。</td><td>10.</td><td>”</td></tr> <tr><td>3. サイト更新等と研究発表（研究発表の日は適宜設定する）</td><td>11.</td><td>”</td></tr> <tr><td>4. ”</td><td>12.</td><td>”</td></tr> <tr><td>5. ”</td><td>13.</td><td>”</td></tr> <tr><td>6. ”</td><td>14.</td><td>”</td></tr> <tr><td>7. ”</td><td>15.</td><td>来期への展望</td></tr> <tr><td>8. ”</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>【評価方法】 出席率、研究成果、プレゼンテーション、質疑応答における積極性、プロジェクト活動の質と量等を総合的に判断して評価する。</p> <p>【履修上の注意】 2年次の学生も参加することができる。</p>						1. ガイダンス	9.	”	2. プロジェクトの内容と担当の決定。	10.	”	3. サイト更新等と研究発表（研究発表の日は適宜設定する）	11.	”	4. ”	12.	”	5. ”	13.	”	6. ”	14.	”	7. ”	15.	来期への展望	8. ”		
1. ガイダンス	9.	”																											
2. プロジェクトの内容と担当の決定。	10.	”																											
3. サイト更新等と研究発表（研究発表の日は適宜設定する）	11.	”																											
4. ”	12.	”																											
5. ”	13.	”																											
6. ”	14.	”																											
7. ”	15.	来期への展望																											
8. ”																													